



どのような未来を目指すための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

法枠をつくります

地元の声

近年、全国で土砂災害が発生しており、裏の山が崩れないか心配している。(地元住民)

事業前

◆斜面が急であるため、平成29年台風21号によりがけ崩れが発生しました。



がけ崩れ状況 (H29年10月)



事業前の状況

事業後

◆法枠の整備により、斜面の風化を防ぎ、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：高崎市倉渕町権田
- 事業内容：法枠工
- 事業期間：平成29年度～

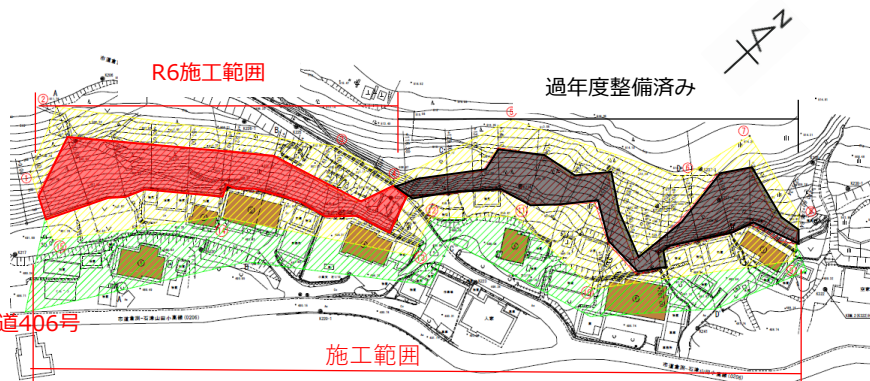
※法枠(のりわく)とは、コンクリートなどで格子状の枠を設けて、斜面の風化、浸食、崩落などを防止するものです。



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)

今、何をしているか

令和6年度も引き続き法枠工事を進める予定です。



事業のすすみ具合

事業開始 ●



● 事業完了